



ピックアップニュース

暮らしや産業を支える加速器技術の活用

ILCが切り開く未来の可能性を講演

岩手県国際リニアコライダー推進協議会は7月8日、盛岡市内で国際リニアコライダー（ILC）公開講演会を開きました。会場には本市の参加者をはじめ、県内の学生や企業、行政関係者ら多くの人々が詰めかけました。

講演は2部構成で行われ、第1部では高エネルギー加速器研究機構（KEK）の吉岡正和名誉教授が、ILCの技術が、がん治療などの高度な医療に役立つことを紹介。第2部では日本加速器学会の田村文彦会長が、ILCがもたらす新産業への活用と地域の可能性を解説し「ILCの主要技術は成熟している」と述べました。会場からは熱心に質問が飛び交い、未来への期待が高まりました。

ILCに用いられる先端加速器技術が暮らしや産業に



ILCの将来性に期待を高めた講演会

与える変化を身近に感じ、地域の新たな可能性について考える機会となりました。

*豆知識 身近な加速器とは

加速器は粒子を電気で加速し、高い運動エネルギーを与える装置。レントゲン検査やがんの放射線治療、創薬研究、農作物の品種改良など、身近な分野で役立てられている。

児童が描いた線の上をロボットが走行

キッズサイエンスに親子18組

市と岩手県南技術研究センターは8月1日、こども向け科学教室「キッズサイエンス」を同センター内で開き、市内および平泉町の小学生の親子ら18組が参加しました。

一関工業高等専門学校のア部林治教授を講師に迎え、黒い線をセンサーで読み取って走る「ライントレースロボット」を体験。自分で描いたコースをロボットが走ると、会場には「線に沿って動くのがすごい」「こんなにすごいロボットなんだ」など一喜一憂するこどもたちの歓声が響きました。

キッズサイエンスは、体験型の実験をととして科学やILCに対する関心を高めてもらう狙いで市などが毎年開催。自分で考え、何度も挑戦する楽しさを肌で感じることで、こどもたちの未来の可能性を広げるきっかけにつながっています。



①自分で描いた線をロボットが正しくたどれるか、ワクワクしながら見守る参加者

②ライントレースロボットを手に笑顔で記念撮影

専用ホームページ、SNSで
情報を発信中！

岡本庁 ILC 推進課 ☎②8315

ILCニュースWEBは
こちら！



英語版ホームページでも発信中！
Check out our ILC
English HP

